

繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

去る、五月二十二日、雲一つない晴天のもと、繁藤大教会 創立百三十周年記念祭ならびに七代会長就任奉告祭をお陰様をもちまして滞りなく勤めさせていただきました。

当日は、遠近問わず四百名余りの方が大教会にお集まりくださいました。久しぶりにお見かけする方がたくさんいて、何年かぶりに賑やかな大教会の様子に、本当に有り難い気持ちでいっぱいになりました。

特に印象的だったのは、前日からの終始慌ただしい状況の中、不思議とおつとめが始まったときが一番、ホッと安堵した心境になったことでした。また同じく胸に残っているのは、祭典でいただいた真柱様からのメッセージの一節です。

「新しい会長に望みたいことは、その立場の理にふさわしく成人するよう努めて頂きたいということとであります」

とのお言葉です。立場の理にふさわしく成人すること、これはつまり、きりなし普請ではないですが、この成人の歩みに終わりは無い、ということだな

と悟り、その言葉の重みと大切さに、あらためて身が引き締まる思いでした。頭で分かっていることとはいえ、親神様から見れば、いや多くの方から見てもまだまだ未熟な私でございませう。真柱様からいただいたお言葉を胸から離さないよう、低い心で通らせていただきます。そして、成人の歩みを止めることなく、親神様の思召にかなうようぼくになれるよう、教会に関わる方々から信頼される会長になれるよう努力を重ねていきたいと思えます。

最後にはなりましたが、当日お参拝いただいた方々、真実の御供を頂戴しました皆様、誠にありがとうございます。また記念祭の報告も合わせてお礼状を送らせていただきますので、しばらくお待ち下さい。次は十月三十日に予定しております、おちばへの御礼団参でお会いできることを楽しみにしています。

立教百八十五年六月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男



【主教百八十五年五月月次祭 祭文】

これの繁藤大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。

親神様は、陽気くらしを見て共に楽しみたいとの思召からこの世人間をお創めくださり永の年月に亘りて、絶え間ない十全の御守護と尽きせぬ親心をもつて、成人の道をお連れ通りくださいます御慈愛の程は誠に有り難く、勿体ない極みでございます。私共は、この御厚恩を忘れることなく、朝に夕にお礼申し上げると共に、及ばずながらも御恩報時しを思い念じて、それぞれの立場の中で、世界たすけの御用を懸命に勤めさせていただきます、お祈りいたします。

今日の吉き日は、これの繁藤大教会に御許しいたゞいでおります、月々の御祭日でございますので、只今から、おとめ奉仕者一同心を一つに合わせ、陽気に座りづとめてまどりをとめて、主教百八十五年五月の月次祭を執り行わせていただきます。御前には、今日を樂しみに寄り集ったおとめ奉仕者をはじめ、よぶべく、信者達が、鳴物の調べに合わせ、おうたを唱和し、日頃賜る厚き御恵みに礼申し上げ、尚一層の成人をお誓いさせていただきます。

いよいよ明日、創立百三十周年記念祭ならびに七代会長就任奉告祭をとめさせていただきます。繁藤の道に繋がる者一同、一手一つに心を結び、喜びいばいに晴天心でつとめさせていただきます。何卒、この心定めをお受け取りいただき、親神様にもお勇みくださいませよう、また世界一列皆兄弟、神人和樂の陽気つくめの世の状へとお導きくださいますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会立教百八十五年 五月月次祭祭典役割》

祭主	指図	扨者	扨者	扨者	扨者	男		女		地方	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	神殿講話																														
						座りづとめ	大教会長	前会長	田村辰久												大教会長夫人	前会長夫人	黒石伸子	坂本久徳	佐藤栄治	為田基紀	宮田孝道	河村道興	藤田憲明	村上英士	為田紀久男	田村久徳	空閑さとの	藤田洋美	佐藤順子															
大教会長	坂本久徳	宮田孝道	田村久徳	佐々木恵	佐藤成彦	てをどり前半	安部道郎	空閑一教	伊藤正福	河村美佐子	宮田まゆみ	村上美栄子	空閑一将	村上美栄子	秋月真一郎	秋月真一郎	田村省悟	前田豊	川田節夫	佐々木恵	佐藤節幸	藤田一憲	坂本喜子	佐藤文代	為田賢子	高山範子	千枝信平	竹下隆廣	田村省悟	黒石忠宏	秋月英希	坂井博文	てをどり後半	佐藤成彦	土居道久	村上由高	田村睦美	空閑	宇山基紀	渡辺道仁	石川信雄	宮田教一	河村藤太	黒河明大	藤田誠	空閑慶吾	立花真一郎	秋月孝子	武市まち子	高山範子

【神殿講話】

(六月) 縦の伝道講習会

濱 勇 治 少年会本部委員

【修養科生並びにおさづけの理拝戴者講話】

(六月) 田村 久徳

【教会長神殿当番】

(六月) 武富士・繁金・方城

(七月) 富久地・赤池・地ノ島

【詰所教養掛】

(六月) 空閑 一将

(七月) 為田 基紀

【詰所事務掛】

(六月) 三井 基志



大教会LINE

【ひのきしん】

○婦人会詰所ひのきしん

六月二十五日～二十六日(未定)

○本部食堂ひのきしん

七月十六日～三十一日

紋膽分教会

【創立百三十周年記念祭・七代会長就任奉告祭記念祭】

先月二十二日に執り行わせていただきました、繁藤大教会創立百三十周年記念祭・七代会長就任奉告祭は、世話人先生のご臨席を頂き、又、繁藤に繋がるよふぼく・信者様方のご参拝も頂き、コロナ禍ではありますが無事つとめさせていただく事が出来ました。これもひとえに皆様方の真実を頂いた賜物と、誌上からありますが厚くお礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

又、十月三十日には、お礼団参を予定しております。日が近づきましたら改めてご案内させていただきますので、よろしくお願い致します。

【婦人会・少年会・青年会各会費納入のお願い】

令和四年度の各会費の納入を、左記の通りお願い致します。

記

- ・ 婦人会 一名称 六〇〇〇円
- ・ 少年会 一名称 六〇〇〇円
- ・ 青年会 一名称 六〇〇〇円

納入については、各会責任者もしくは会計担当者にお納め頂き、必ず領収証を受け取って下さい。やむを得ず詰所事務所にお預けになる場合は、詰所にて預かり証しか出せませんのでご留意下さい。

【本部分次祭昇殿参拝について】

本部分次祭には、現在、各大教会に割り当てられた人数のみ昇殿参拝をさせて頂く事ができます。繁藤としての割り当ては、引き続き今月は二十名です。部内教会ごとに割り当てはいたしませんので、昇殿参拝を希望される方は大教会坂本久徳（携帯080-3920-1817）までご連絡下さい。尚、先着二十名とさせて頂きますが、二十名を超える場合は、今までの状況を考慮して調整させて頂きます。

【婦人会】

○「みちのだいおはなし会」

左記の日時で「みちのだいおはなし会」が開催されます。

日 時 六月二十六日（日）午後一時～二時

場 所 第二食堂

講 師 須 田 実 先生（天理高校第二部教諭）

テーマ 「おつとめとおさづけは ありがたい」

・お子様連れでの入場はお控え下さい。（託児はありません）

・感染予防策として、係に指示に従ってご入場下さい

・必ず不織布マスクを着用して下さい。

○婦人会繁藤支部 支部長交代

去る、五月二十五日婦人会長様より、大教会長夫人坂本好恵が繁藤支部長の辞令を頂きました。

どうぞよろしくお願い致します。

【少年会】

○夏休みこどもひのきしんについて

昨年同様各教会にチラシ・ひのきしんカード・シール（見本）を配らせて頂きます。

今月の大教会月次祭の時に直属を通じてお配りします。

夏休みを利用して子供たちと共にひのきしんの出来るようお声掛け、お力添えをお願いいたします。ひのきしんカードがシールで一杯になった少年会員には団より何かを用意したいと思えます。ひのきしんの喜びを感じてもらえるようよろしくお願い致します。

○親里での受入について

七月二十六日～八月二十日まで昨年同様ひのきしんセンターを設置して、『夏休みこどもひのきしん』の世話取りをさせて頂きます。その他にしこみやお楽しみの企画をわずかではありますが準備しております。詳細は別紙を参照下さい。（教会のみ）

○みんなで米づくり！田植え体験 @大教会

昨年から大教会で行っている稲作に、今年は少年会もお手伝いさせていただきます。田植えしたお米は、秋にみんなで収穫もする予定です。皆さん、こぞってご参加ください。

日 時 六月十一日（土）午前十時～十二時半予定

場 所 大教会集合

備 考 参加費無料・雨天決行・昼食あります

着替え・タオルを持参下さい

【よふぼく・信者情報の確認リスト提出のお願い】

先般、各教会へ配布致しました確認リストは、「よふぼく・信者情報の現状確認についてお願い」をご参照の上、転籍・転住・改姓などの変更箇所を訂正（赤ペン）いただき、至急大教会までご提出下さいますようお願い致します。

【学生会】

「学生生徒修養会 高校の部」が八月八日～十二日の日程で開催されます。対象になります高校生にお声がけ頂き、道の将来を担う人材育成の上にもお役立て頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。お問い合わせ申し込みは大教会（為田）までご連絡ください。

【おちばがえり定期便】

今月から、左記の日程と旅費で、どなたでもご利用いただける月次祭参拝の定期便を設けます。ご利用希望の方は、毎月二十日までに大教会までご連絡ください。

毎月 二十五日 午前8時30分 大教会出発

二十六日 午後2時 詰所出発

費用 片道4000円

※都合により時間の変更がありますのでご了承ください。

【初席者（四月）】

方城 矢野 健太郎 方城 矢野 さくら
来見 林 真理奈 来見 林 裕里奈

實彌原 田村 駿次

繁藤カリ Maria de los Angeles Angulo Sossa



世話人先生・来賓の方々お見送り後